

第6次幸手市総合振興計画策定のための

第1回 市民検討会議

平成30年2月19日(月)19:00～
幸手市役所 第2会議室



本日の流れ

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 役員選出
- 6 オリエンテーション
 - (1) 趣旨説明
 - ① 総合振興計画とは
 - ② 計画の策定スケジュール
 - ③ 市民検討会議の役割
 - ④ 市の現状について
 - (2) 意見交換
- 7 その他

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 役員選出

6 オリエンテーション

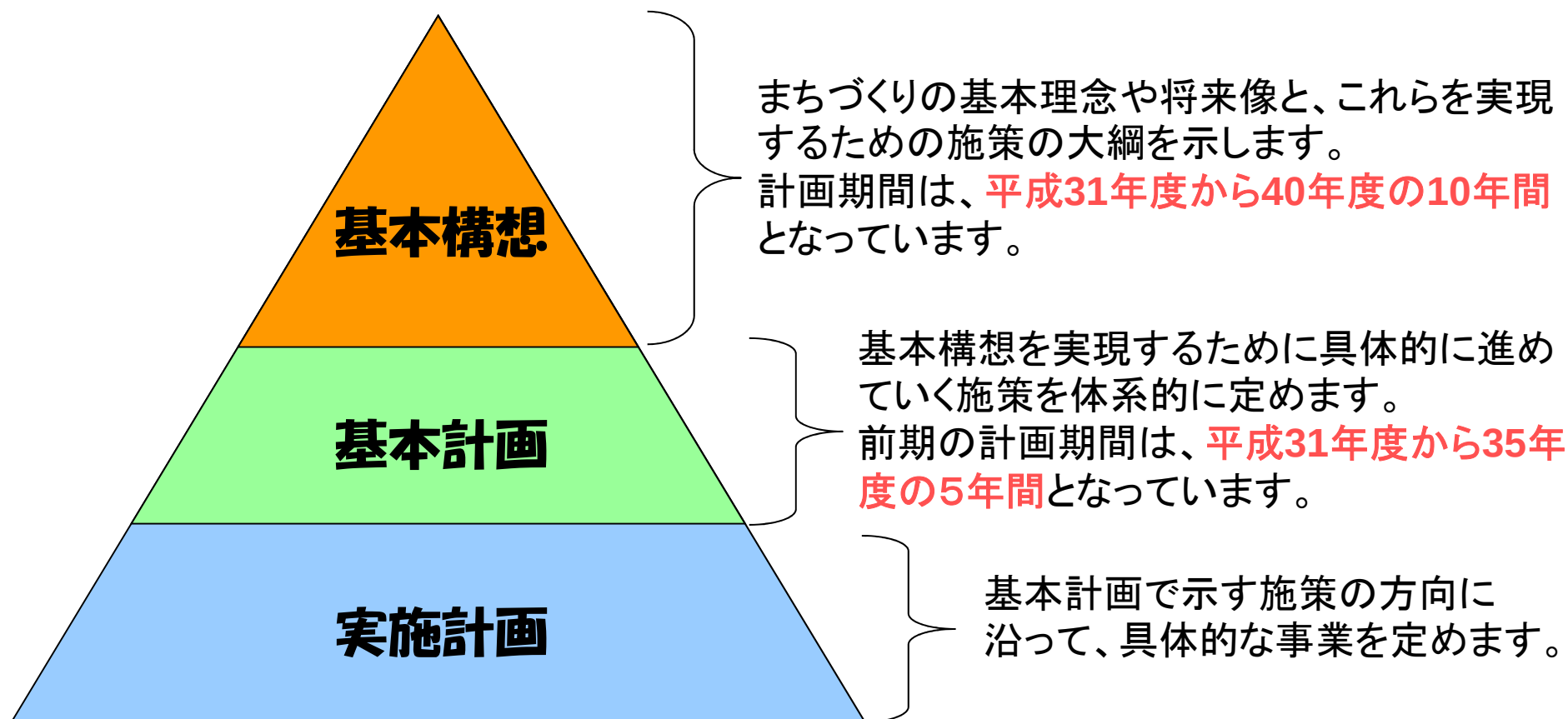
(1) 趣旨説明

① 総合振興計画とは

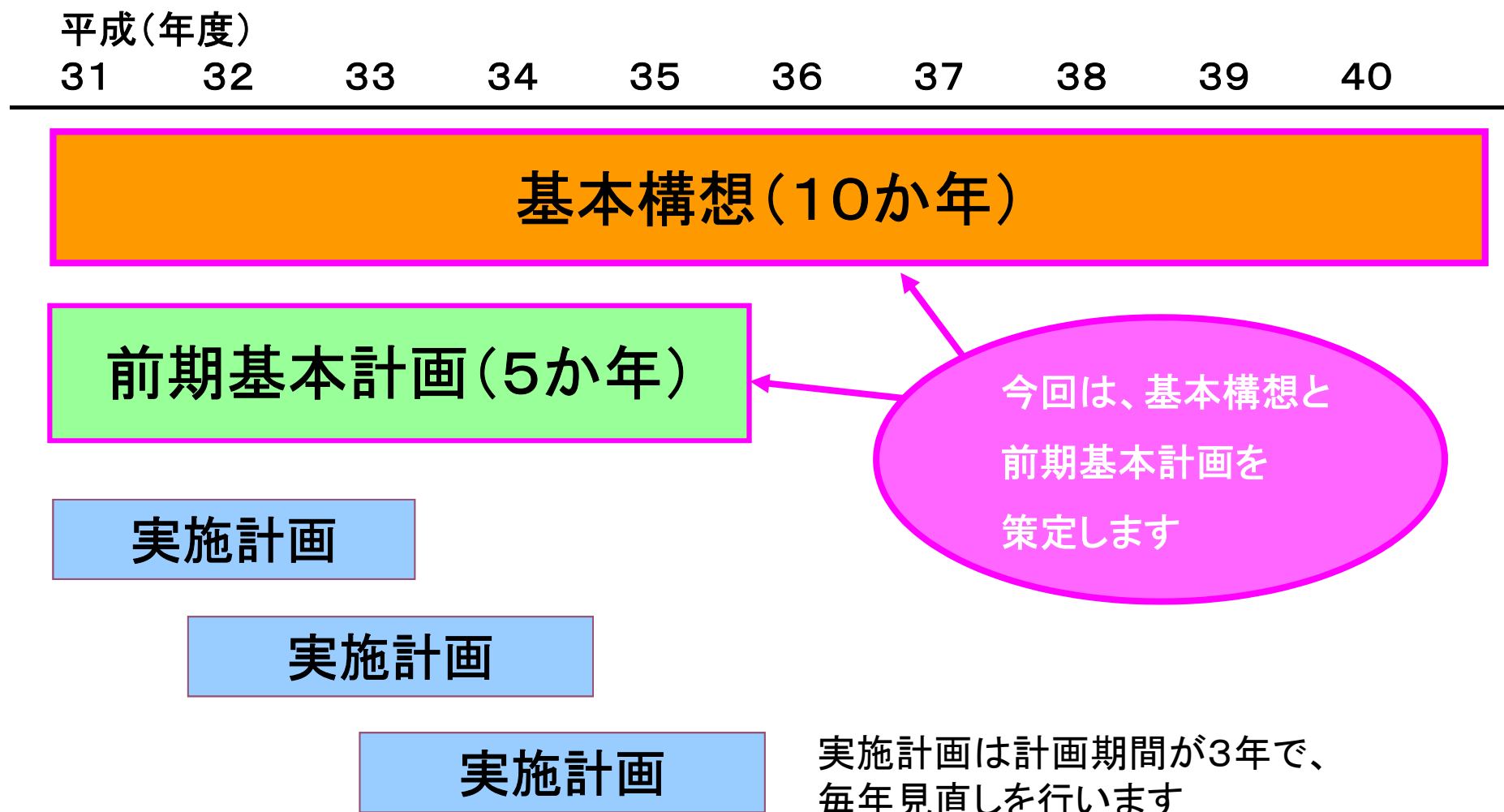
総合振興計画とは



- 総合振興計画とは、わたしたちのまちの将来像と、それをめざすための基本的な施策を表したもので、**幸手市にとってもっとも重要な計画**といえます。



第6次幸手市総合振興計画の計画期間



現計画（第5次幸手市総合振興計画）の概要

まちづくりの基本理念

市民との協働による
計画的なまちづくり

安心・安全で
持続可能なまちづくり

幸手らしさを持つ、
コンパクトながら
活力あるまちづくり

基本構想の概要

将来像

都市と自然が調和した
安心・安全で活力あるまち 幸手

施策の大綱

将来像の実現に向けて、施策を7つの分野に分けて、それぞれの方向を示しています。

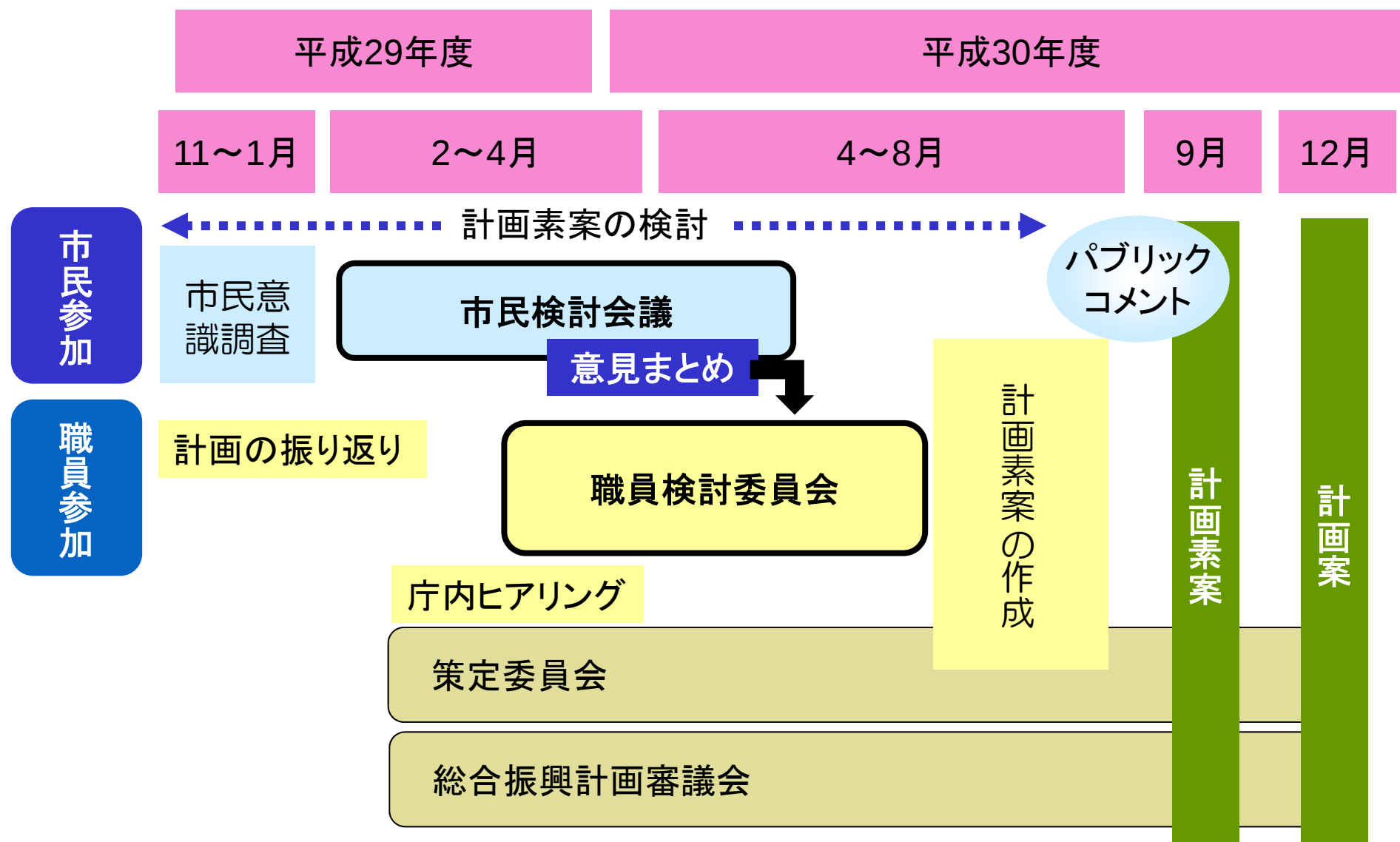


都市と自然が調和した
安心・安全で活力あるまち 幸手

施策の大綱

- ①自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち
【安心安全・環境分野】
- ②健やかで生き生きとした暮らしのあるまち
【健康福祉分野】
- ③地域の特性を活かした快適で特色あるまち
【都市基盤分野】
- ④明日を支える人を育む教育・文化の豊かなまち
【教育分野】
- ⑤活力ある地域経済をおこすまち
【産業分野】
- ⑥市民一体となり自立した地域を育むまち
【市民活動・人権分野】
- ⑦基本構想の実現のために
【行財政運営分野】

② 計画の策定スケジュール



③ 市民検討会議の役割

市民検討会議では、基本構想や前期基本計画策定にあたって、現状と課題や、課題解決に向けたアイデアなどについて意見交換をしていただき、まとめていきます。

第1回
2/19(月)

現状説明
フリートーク

・総合振興計画について説明し、幸手市の現状説明とフリートークを行います。

第2回
2/26(月)

主要課題の
検討

・今後10年間を見据えて幸手市が取り組むべき主要な課題についての検討を行います。

第3回
3/9(金)

施策分野別の
検討

・現計画の7つの施策分野別の現状と課題の検討を行います。

第4回以降
4月以降を予定

将来像
基本理念検討

・本市の将来像、基本理念について検討を行います。

基本構想策定に向けた「主要課題と計画の方向性」を検討

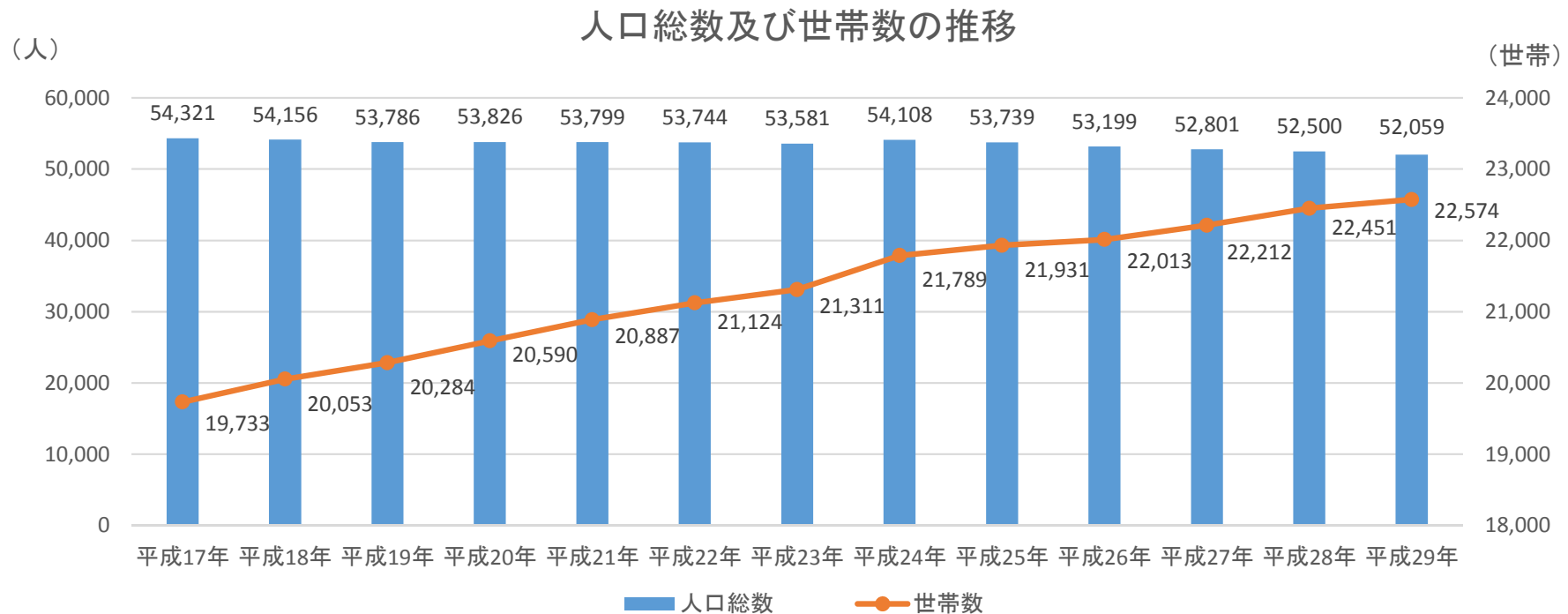


計画策定に向けた「市民検討会議 意見書」として提出

④ 市の現状について

◆人口

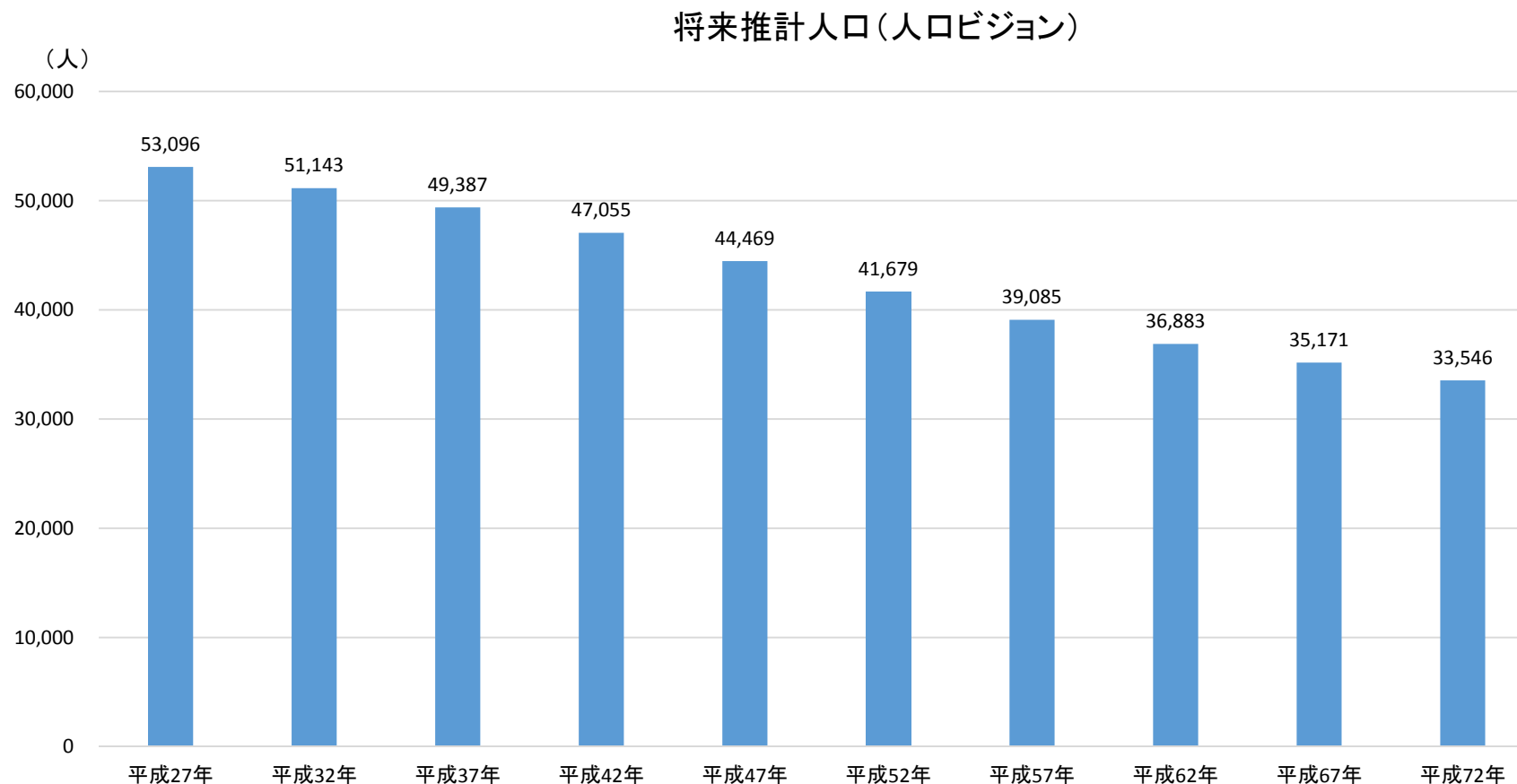
- 人口総数は減少傾向となっています。
(平成17年：54,321→平成29年：52,059 (人))
- 世帯数は増加傾向となっています。



出典：住民基本台帳(各年10月1日)

◆将来人口推計

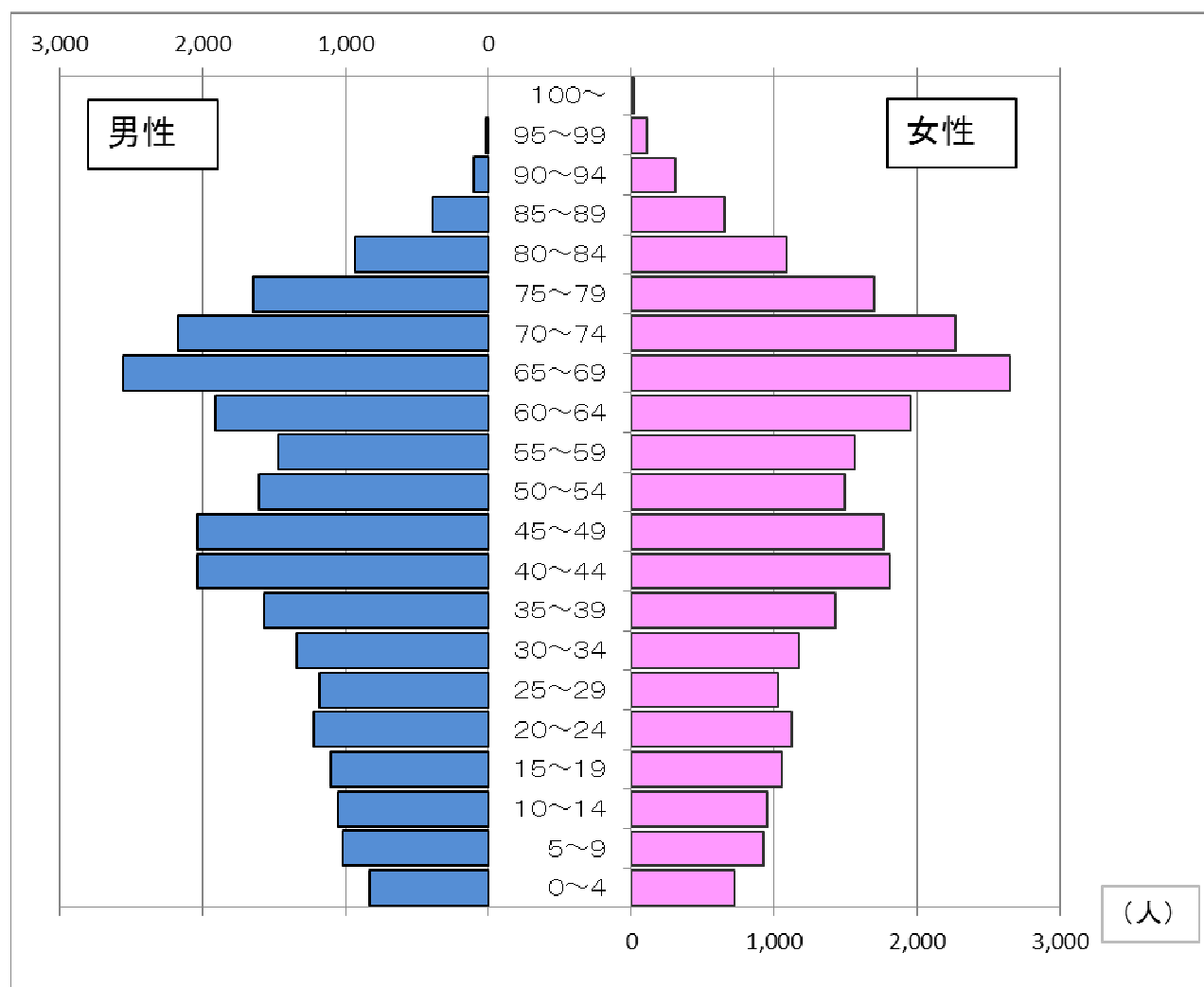
- 人口総数は今後も減少傾向が続くとみられ、平成37年（2025年）頃には5万人を下回ると推計されています。



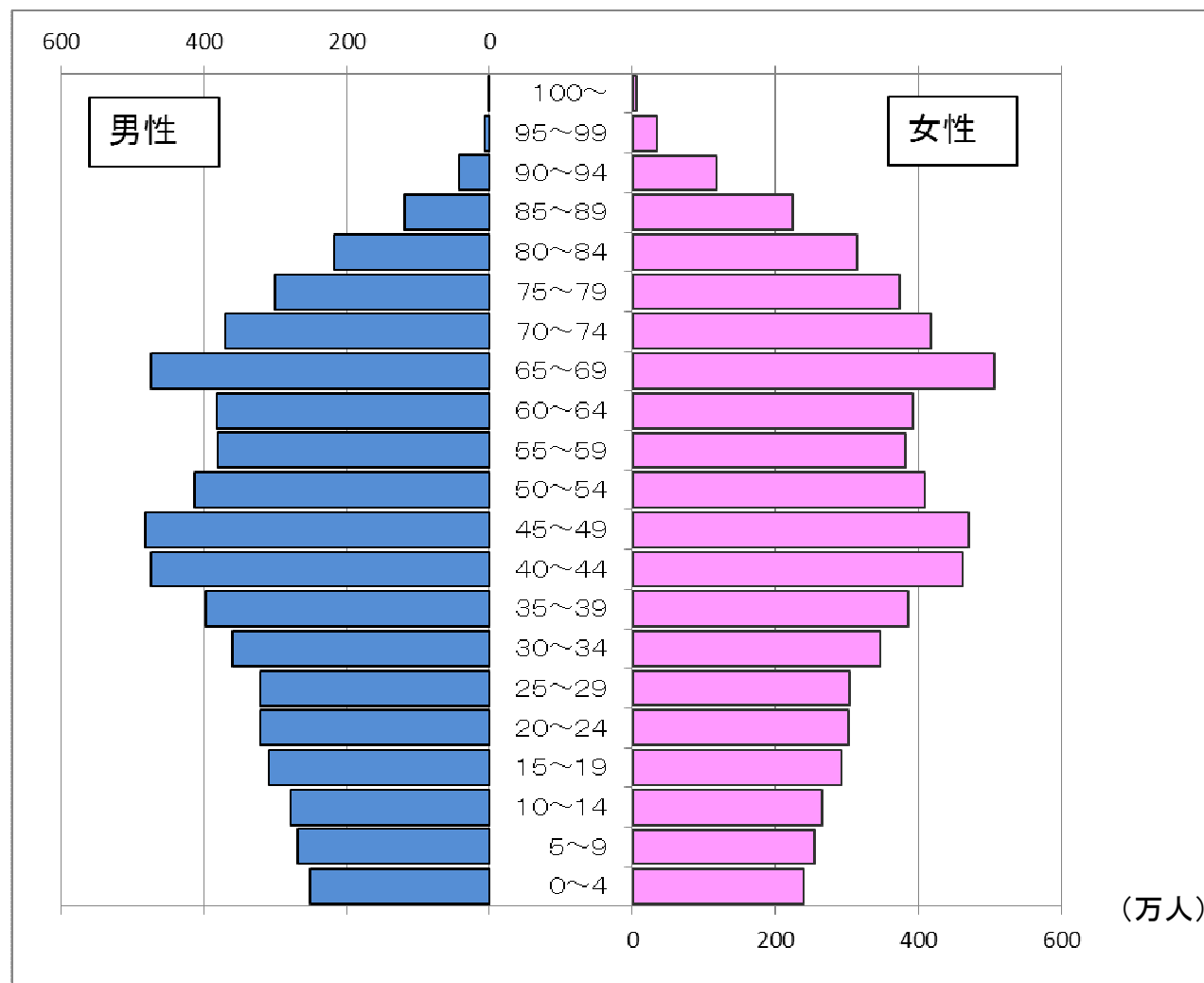
出典: 国立社会保障人口問題研究所による推計(平成27年)

◆幸手市の人口ピラミッド（平成30年1月）

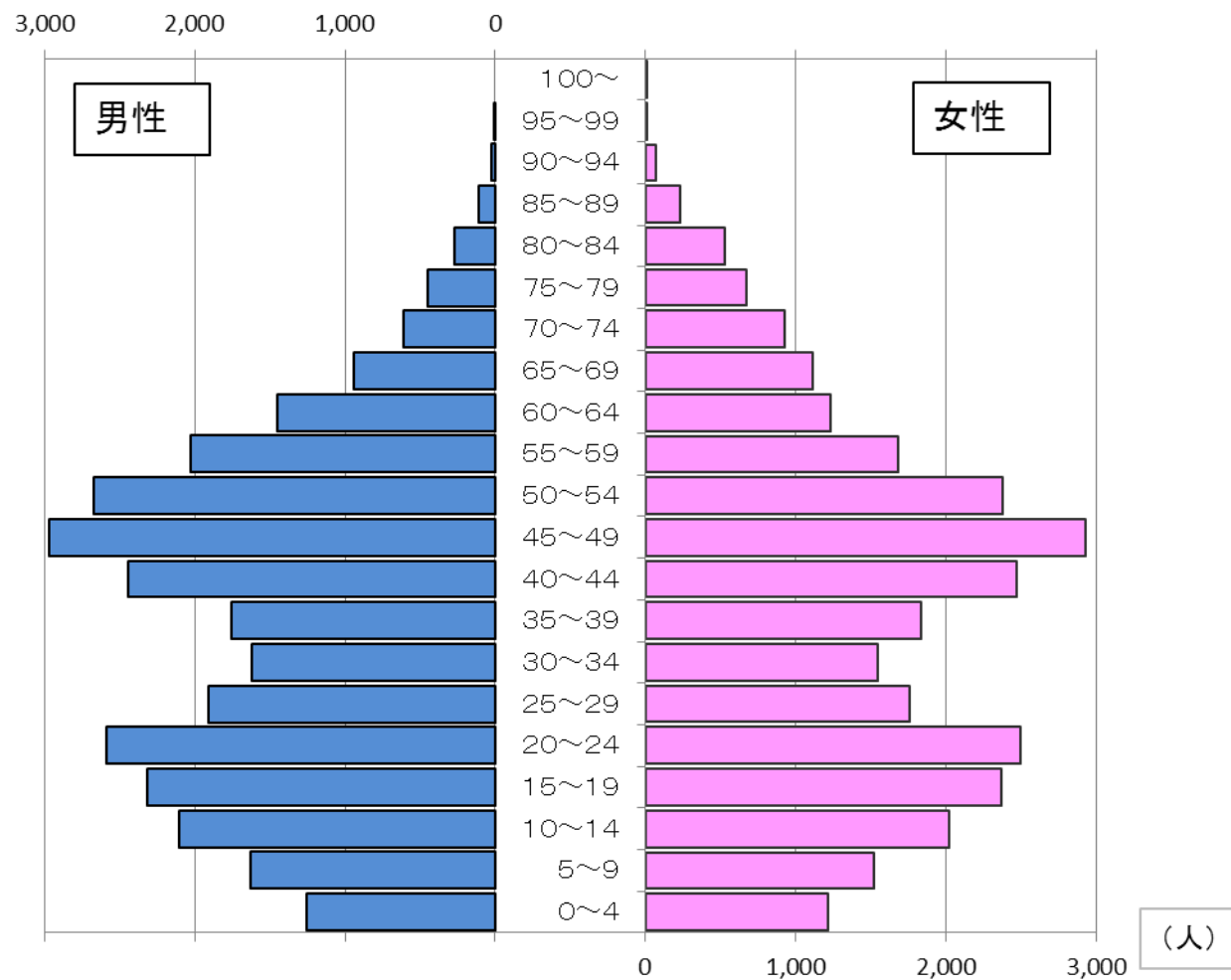
- ・男女とも65～69歳が最も多くなっています。



- ◆（ご参考）日本全体の人口ピラミッド（平成30年1月）
- ・幸手市と同様に男女とも65～69歳が最も多くなっています。

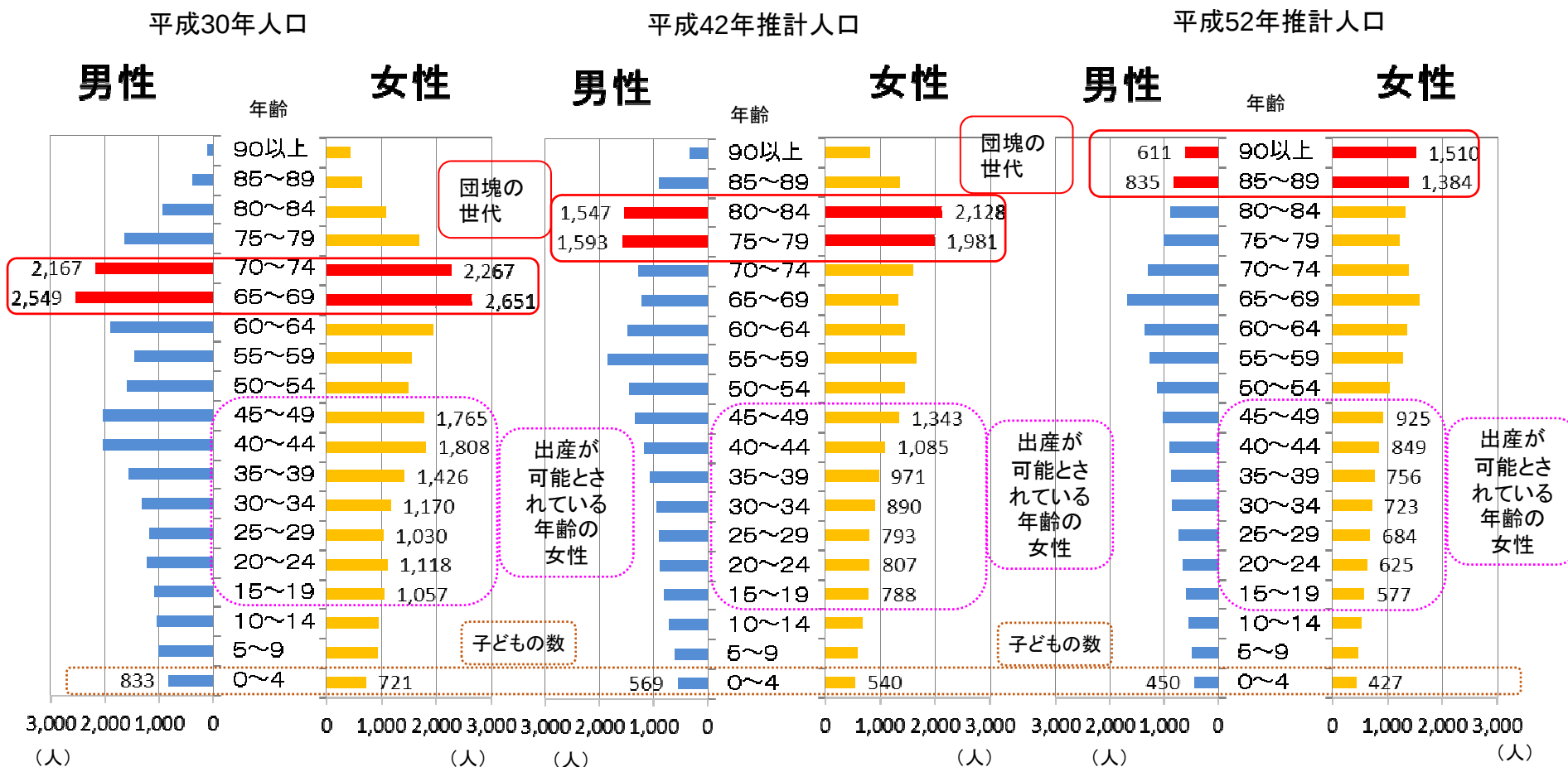


- ◆（ご参考）平成7年時点での幸手市の人口ピラミッド
- ・男女とも45～49歳が最も多くなっています。



◆人口構成

- ・今後、①全ての団塊の世代が後期高齢者となります。
- ・②出産が可能とされている年齢の女性が減少し、少子化の傾向が続きます。



突然ながら・・・ここでクイズです

質問 国全体と同じ発生率で要介護者が増えるとなると、次のうち、要介護者数が多いのは、どちらの集団でしょうか？

- 1. 85歳以上の方のみ 10人の集団
- 2. 65～74歳の方 100人の集団

答えは次のページ♪

答えは、「 」です

- 85歳以上の要介護者は 5.8人(58.3%)
- 65～74歳の要介護者は 4.4人(4.4%)

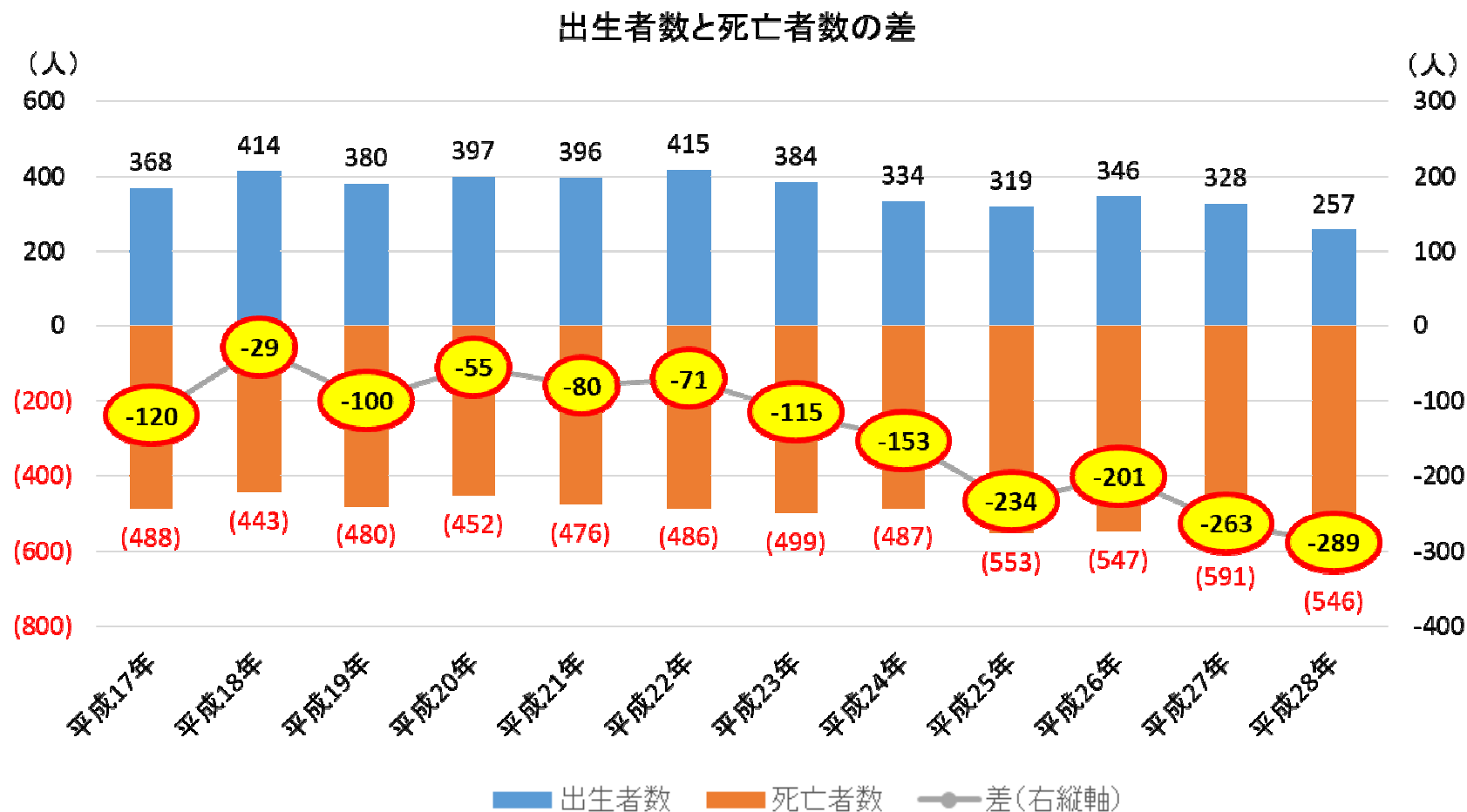
(平成27年12月介護保険事業報告、国推計人口から作成)

年齢別要介護発生率

85歳以上	58.3%
75歳～84歳	20.4%
65～74歳(前期高齢者)	4.4%

◆出生と死亡

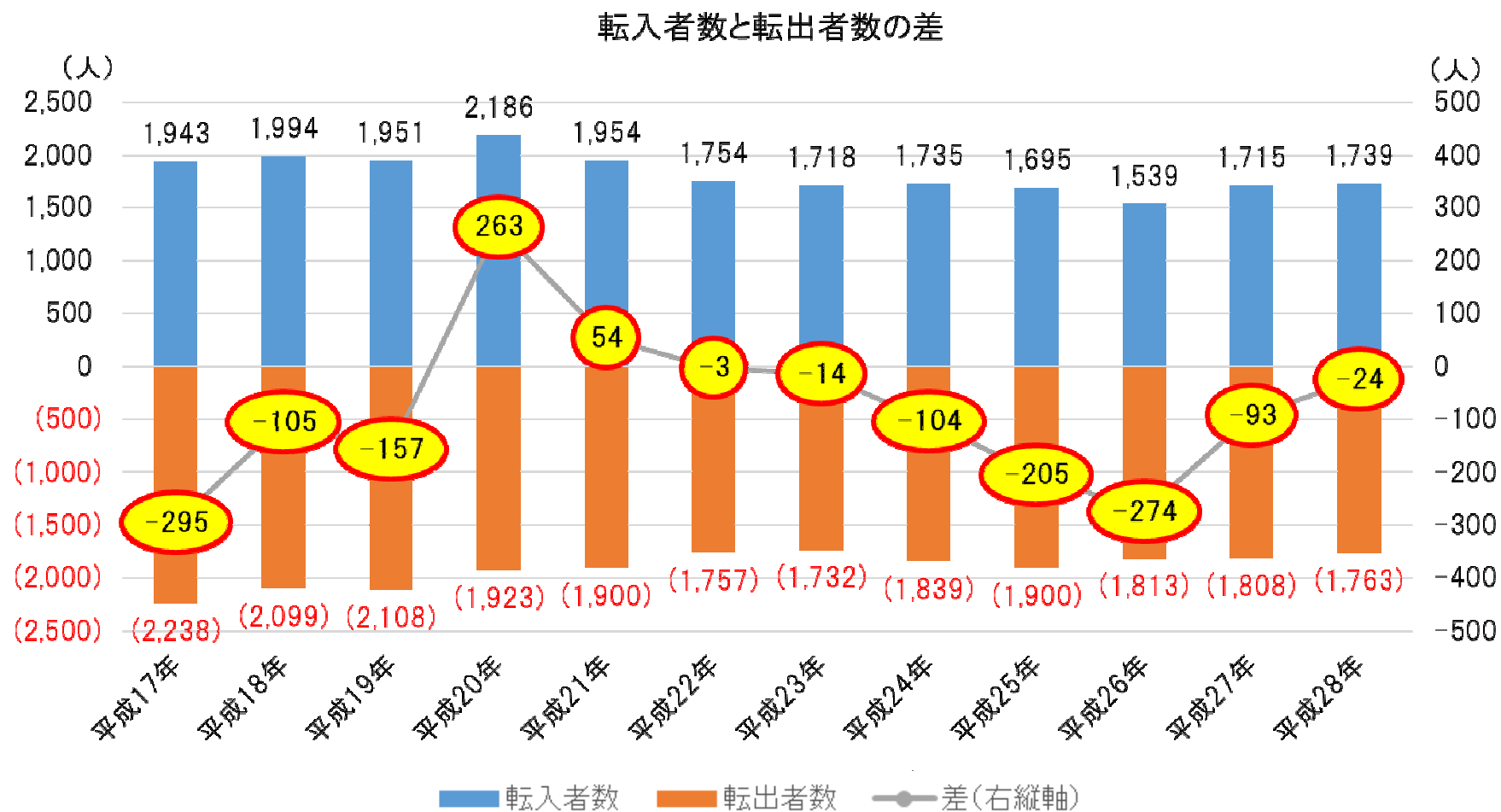
- 各年の出生者数と死亡者数の差を見ると、平成17年以降、死亡者数が出生者数を上回っています。



出典: 統計さって

◆転入と転出

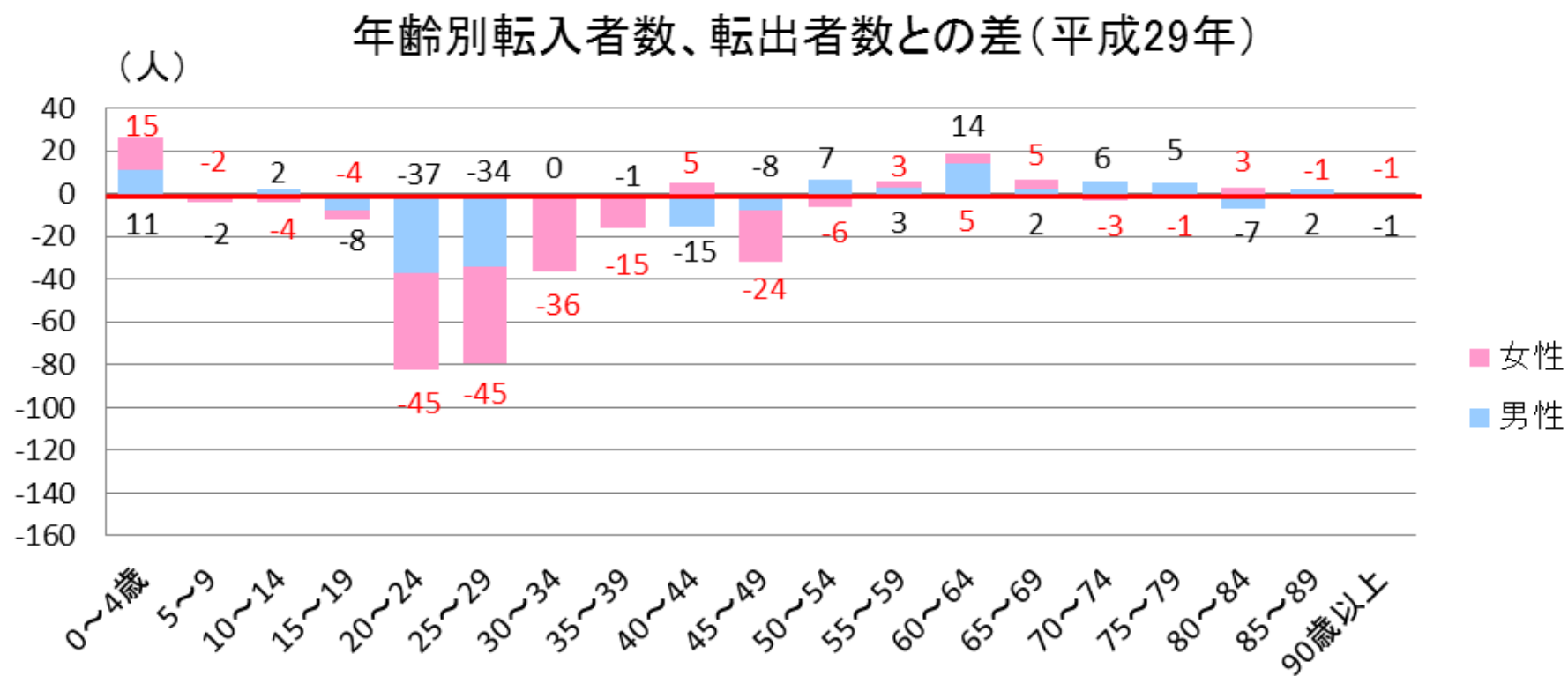
- 各年の転入者数と転出者数の差を見ると、平成17年以降、平成20年と21年を除いて転出者数が上回っています。



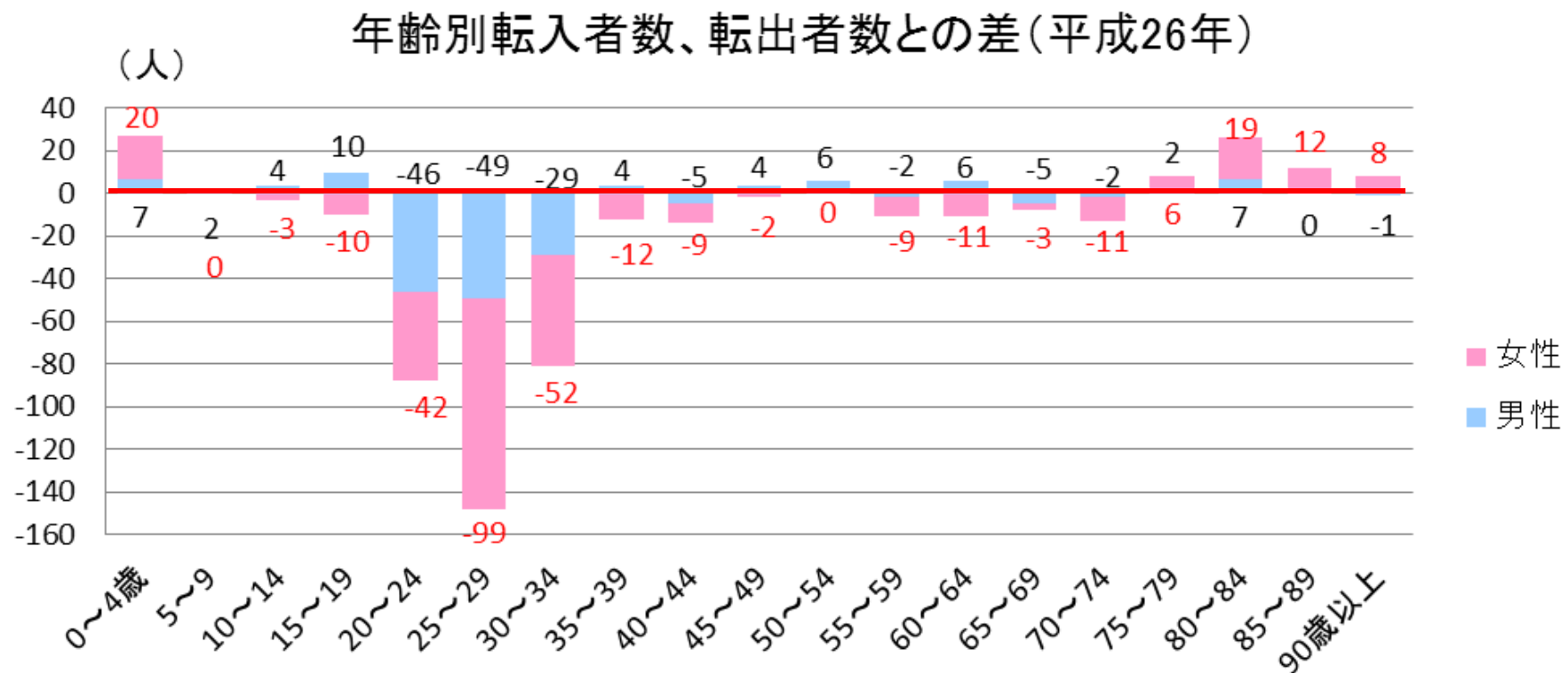
出典: 統計さって

◆年齢別転入超過者数（平成29年・日本人のみ）

- ・全体では、5～49歳までが転出超過となっています。



- ◆（参考）年齢別転入超過者数（平成26年・日本人のみ）
- ・この時点では、**20～34歳の女性の流出が多くなっています。**



◆（参考）0～4歳の方の人口流動

- ・幸手市は0～4歳に限れば、県内の市で25位の流入超過です。

0～4歳の転入超過
の多い市（人）

さいたま市	517
上尾市	144
加須市	122
鴻巣市	96
新座市	89
幸手市/25位	26

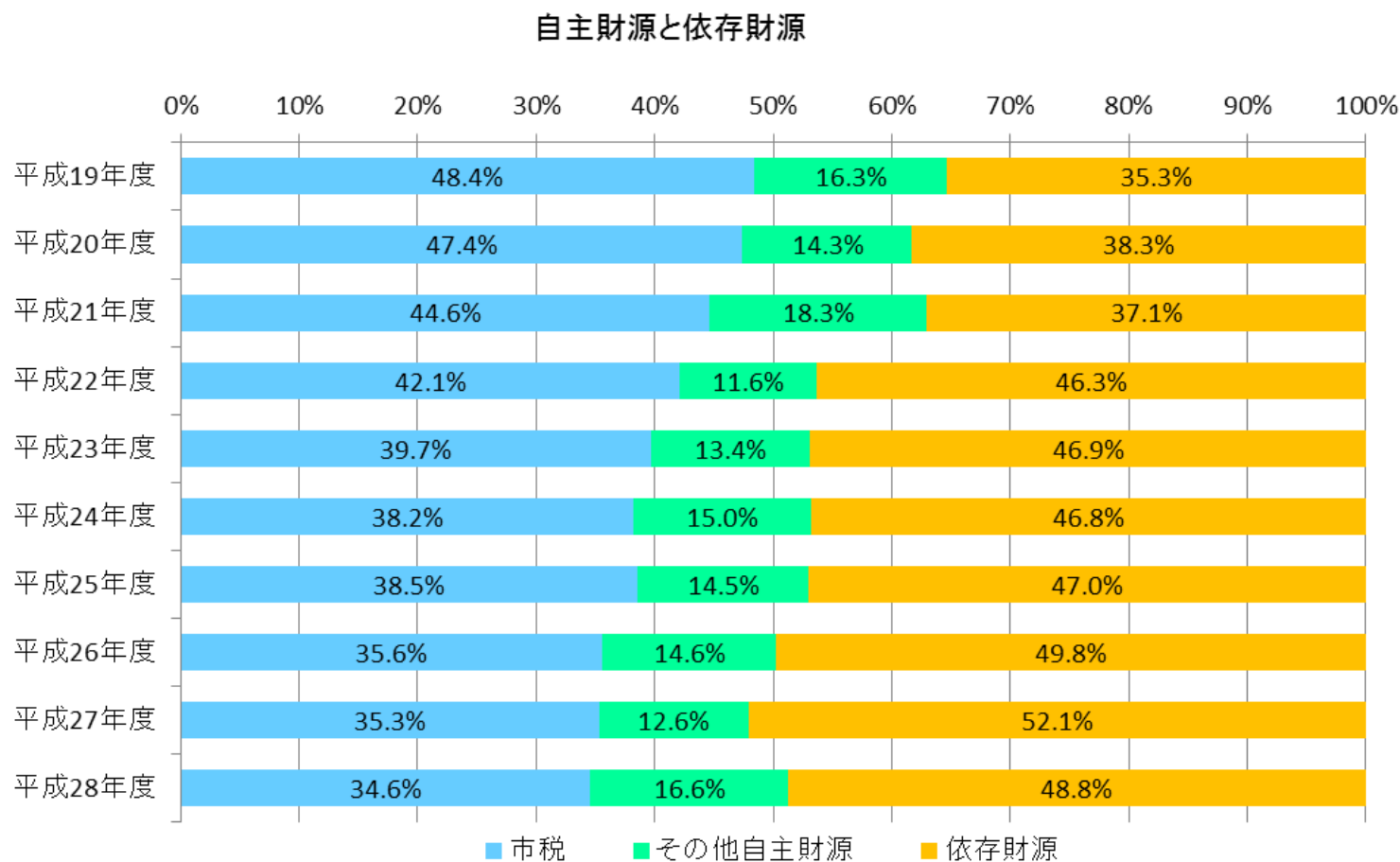
0～4歳の転出超過
の多い市（人）

川口市	-226
戸田市	-180
和光市	-132
蕨市	-76
朝霞市	-56

ご参考 埼玉県内には、「市」は合計で40市あります。

◆歳入の比率

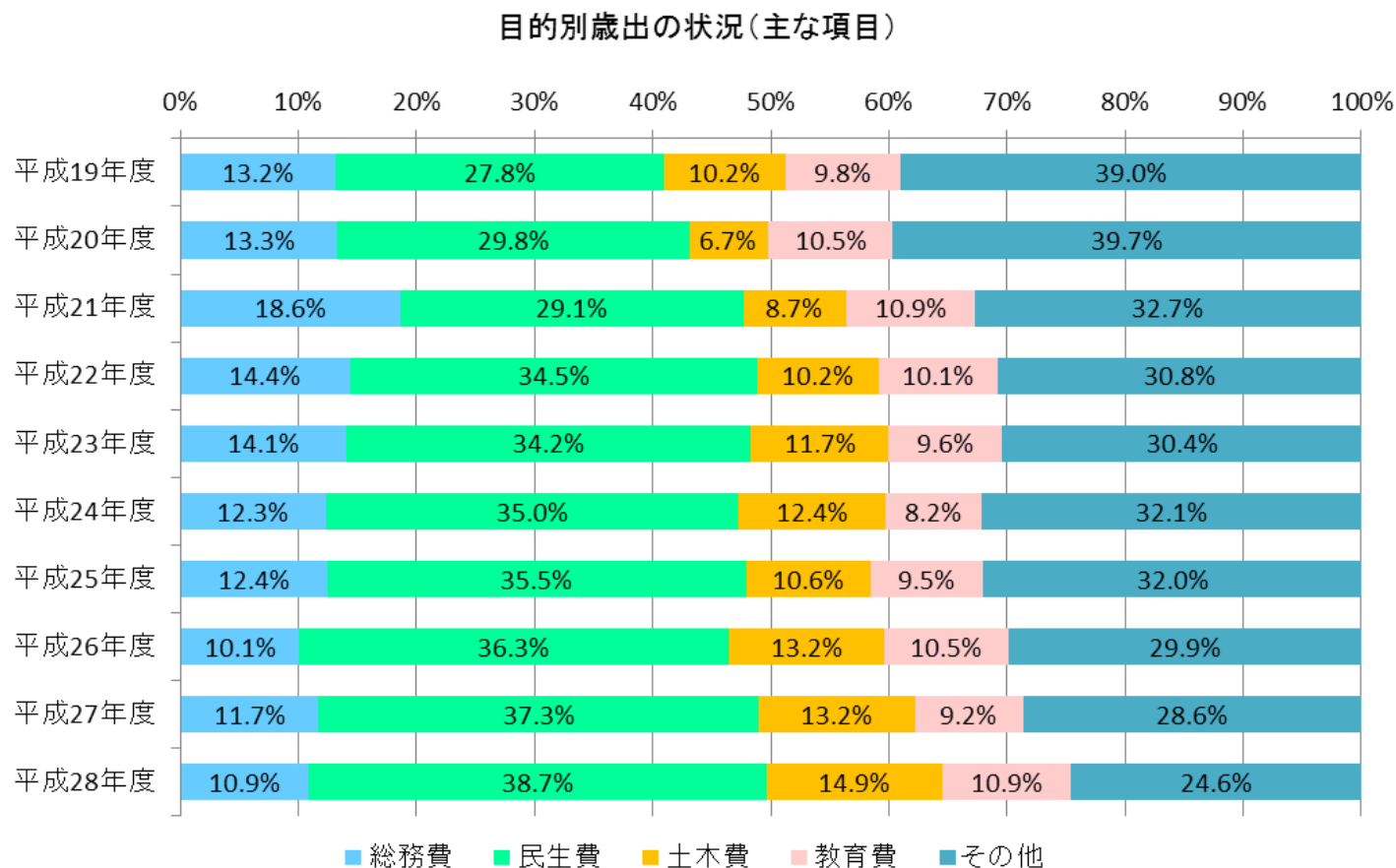
・市の収入である歳入のうち、自主財源の比率は低くなっています。（市税＋その他自主財源＝自主財源）



出典：平成28年度主要施策成果表

◆歳出の比率

- ・市の支出である歳出のうち、大きな割合を占めるものは、「民生費」「土木費」「総務費」「教育費」となっています。



出典:平成28年度主要施策成果表

(2) 意見交換

気軽に質問、思ったことを意見交換しましょう

7 その他

- 次回の開催は**2/26（月） 19:00-21:00**となります。
ご出席のほどよろしくお願いいたします。

